



ハリマ化成グループ

環境・社会報告書 2013

Environmental and Social Report 2013



自然の恵みを暮らしに活かす

ハリマ化成グループ基本理念

「自然の恵みを暮らしに活かす」これが私たちの基本理念です。

それは、「人と自然、そしてテクノロジーの調和」を願うものであり、豊かな社会の創造を追求するものです。

私たちはこの基本理念のもとで、グループ全体の能力を集結させ、パインケミカル事業を通して、これからも人々の暮らしに貢献してまいります。

企業理念

- わたしたちは、自然の恵みを、暮らしに活かす企業です。
- わたしたちは、潤いのある、豊かな社会の創造を使命に人と技術を大切にするグローバルカンパニーを目指します。
- わたしたちは、理解し、協力し、心から信頼し合うことそして、知的で感性豊かなチャレンジャーであることを行動の基本とします。
- わたしたちの心は、YES. ナンバー1

企業行動基準

この企業行動基準は、ハリマ化成グループがその企業理念のもとで事業活動を行っていく上で、会社および役員、社員が遵守する行動の基準を定めたものです。

ハリマ化成グループおよびその役員、社員は、以下に定める基準の精神を理解し、これを遵守します。役員は、この基準遵守の実現が自らの重要な役割であることを認識し、率先垂範の上、関係者への周知徹底と社内体制の整備を図ります。また、役員は、この基準に違反する事態が発生したときには、自らの責任で問題解決にあたり、共に、原因究明、改善を図り、再発を防止します。

1. わたしたちは、「自然の恵みを暮らしに活かす」を基本とし、人と技術を大切にする研究開発を通じて、豊かな社会の創造に寄与することを目指します。
2. わたしたちは、社会にとって有益で優れた商品を生産、提供することにより社会に貢献すると共に、事業活動のすべての面で商品の安全性に配慮し、行動します。
3. わたしたちは、その調達活動および販売活動において、全ての取引先に誠意をもって接すると共に、公正かつ適正な取引条件を設定しそれを遵守します。健全な取引慣行を逸脱する行為、社会通念にもとる行為は行いません。
4. わたしたちは、営業秘密を含む知的財産の重要性を認識し、他者の権利を尊重すると共に、自らの権利を守り、防衛します。
5. わたしたちは、事業活動に必要な資源やエネルギーはもちろんのこと、さまざまな点でこの地球から恩恵を受けており、この地球環境をよりよい状態に保つための自主的、積極的な活動を行います。
6. わたしたちは、株主をはじめ広く社会とのコミュニケーションを行い、社会にとって有用な情報を積極的かつ公平に開示し、透明性の高い開かれた企業として信頼を得るよう努力します。
7. わたしたちは、事業を通じての社会貢献はもとより、社会を構成する良き企業市民として社会貢献活動や文化、教育活動とその支援を積極的に行います。
8. わたしたちは、その事業活動にあたって法令、その他の社会的規範を遵守し、公明かつ公正に行動します。また、政治、行政との健全かつ正常な関係を保つと共に、社会の秩序や企業の健全な活動に悪影響を与える個人、団体に関わるなど、社会良識に反する行為は行いません。
9. わたしたちは、海外進出に際し、国際ルールや法令の遵守はもとより、習慣および文化を尊重し、進出先の国家、地域の発展に積極的に貢献します。
10. わたしたちは、社員一人ひとりの人格と個性を尊重し、ゆとりと豊かさを実現できる環境整備に努めます。また、安全で働きやすい職場環境確保に努めます。

編集方針

2003年度に「環境報告書」を発行して以来、環境に関する取り組みを中心に報告してきましたが、2006年度より「環境・社会報告書」として社会性に関する報告を含めました。

本報告書は、ステークホルダー^{*}の皆さまに対して、「経済」「環境」「社会」などの全ての観点からハリマ化成グループのさまざまな取り組みについてご紹介するとともに、ハリマ化成グループの従業員へのメッセージとして製作しています。

2013年版の特徴は次の通りです。

- ・2012年に持株会社制となったハリマ化成グループ株式会社の会社内容などについて説明しました。
- ・海外拠点の環境マネジメント活動について紹介しました。
- ・社会活動の内容充実に努めました。
- ・ユニバーサルデザインフォントを採用し、より多くの方へ適切に情報を伝えられるよう配慮しました。

報告対象期間

2012年4月1日～2013年3月31日

※一部、2013年度における直近の活動を含む記載もあります。

報告対象範囲

ハリマ化成グループ株式会社および国内外関係会社37社を対象としています。

ただし、環境活動および社会活動については、2012年10月の持株会社体制移行後の事業承継会社であるハリマ化成株式会社を中心に以下の範囲で記載しています。

●環境活動

ハリマ化成株式会社と国内関係会社について記載しています。

<ハリマ化成株式会社>

本社、研究所、7工場、営業所

<国内関係会社>

ハリマエムアイディ株式会社

株式会社セブンリバー

ハリマ化成商事株式会社

ハリマ化成ポリマー株式会社

株式会社日本フィラーメタルズ

※環境マネジメントについては、ISO14001の認証を取得している海外関係会社の活動も会社別に紹介しています。

※環境パフォーマンスデータについては、個々に集計範囲を表記しています。

●社会活動

ハリマ化成株式会社の取り組み事例を記載しています。

※IR活動については、ハリマ化成グループ株式会社の情報を記載しています。

●本文中の記述では、「ハリマ化成グループ」と「ハリマ化成」を以下の基準で書き分けています。

ハリマ化成グループ：上記の「報告対象範囲」と同様

ハリマ化成：ハリマ化成株式会社

ハリマ化成グループ(国内)：ハリマ化成株式会社と

国内関係会社

ハリマ化成グループ(海外)：海外関係会社

参考にしたガイドライン

環境省の「環境報告書ガイドライン(2012年版)」

次回発行予定

2014年8月

ハリマ化成グループ基本理念	1
報告概要	2
目次	2
トップメッセージ	3
ハリマ化成グループ会社概要	5
ハリマ化成グループ事業概要	7
ハリマ化成グループのコーポレート・ガバナンスと内部統制システム	9

環境

環境への取り組み	11
地球温暖化防止への取り組み	12
環境マネジメント	13
環境配慮商品の開発	17
環境負荷低減への取り組み	19
化学物質の管理	21

社会

株主・投資家の皆様とともに	22
お客様とともに	23
社会とともに	25
労働安全衛生への取り組み	26
従業員とともに	27
地域社会とともに	29
保安防災への取り組み	30

データ

サイトレポート	31
データ編	33
・ISO認証取得の状況	
・労働災害の状況	
・物流(外部委託)におけるCO ₂ 排出量	
・PRTR法対象物質の排出量・移動量の一覧	
・環境会計	

※ ステークホルダー：利害関係者のこと。具体的には、消費者(顧客)、従業員、株主、債権者、仕入先、得意先、地域社会、行政機関など。

トップメッセージ

「自然の恵みをくらしに活かす…」

これが私たち、ハリマ化成グループの基本理念です。それは「人と自然、そしてテクノロジーの調和」を願うものであり、豊かな社会の創造を追求するものです。私たちはこの理念を胸に、今、人々が心やすらかに過ごせるよう、未来に向かって、暮らしを豊かに彩りたいと考えています。

代表取締役社長

長谷川 吉弘

ハリマ化成グループは2012年10月1日付でグループ全体最適を見据えた経営戦略の策定、グループ企業の経営管理の強化などを目的とする持株会社制に移行しました。従来の環境方針をグループ全体に適用する内容に改訂し、基本理念を活かした環境への取り組みをより強固なものにしようとしています。この報告書は、日本国内を中心にまとめていますが、グループ全体の情報を把握し、環境・社会報告書の内容を充実させることを、今後の課題として取り組んでまいります。

安全の面では、2011年以降、化学工場で大きな事故災害が散発し、化学産業全体への信頼が揺るぎかねない状況が起きました。2012年度は、当社グループでの大きな事故はありませんでしたが、10月に、事業継承会社であるハリマ化成株式会社に安全管理課を新設し、トラブルの要因解析と再発防止を図り、安全を最優先にした操業を続けています。また、リスクアセスメント活動を推進し、隠れた危険の芽を摘み、安全で快適な職場環境の形成に努めています。



猛暑や集中豪雨などの異常気象が頻発し、地球温暖化が現実のものとして認識されるようになっていきました。当社グループでは、二酸化炭素の増加につながらない循環型事業として、天然資源の利用とその副産品によるバイオマスエネルギー化を推進してまいりました。さらに、環境に優しい新製品の開発を進めるとともに、現行製品についても製造設備の省エネルギー化を図ります。環境マネジメントの強化として、ISO14001の認証をハリマ化成ポリマー株式会社徳島工場、Harimatec Czech, s.r.o.に拡大しました。

私たちハリマ化成グループは、再生可能な植物資源である「松」から得られるロジンや脂肪酸などを使って、化学素材を提供してまいりました。これからも、地球をひとつのフィールドと考えたグローバルな企業として、人々の暮らしに貢献してまいります。

ハリマ化成グループ会社概要

Global Network

- チェコ
●Harimatec Czech, s.r.o.
- ベルギー
●Lawter カロ
- オランダ
●Lawter マーストリヒト

Europe

オランダ
ベルギー
チェコ

Japan

Asia

中国
韓国
日本
台湾
インド
タイ
マレーシア

- 中国
- ハリマ化成管理(上海)有限公司
Harima Chemicals (Shanghai) Co., Ltd.
 - 杭州ハリマ電材技術有限公司
Harimatec Hangzhou Co., Ltd.
 - 杭州杭化ハリマ化工有限公司
Hangzhou Hanghua Harima Chemicals Co., Ltd.
 - 東莞市杭化ハリマ造紙化学品有限公司
Dongguan Hanghua-Harima Paper Chemicals Co., Ltd.
 - 岑溪東林松香有限公司
Cenxi Donglin Rosin Co., Ltd.
 - 信宜日紅樹脂化工有限公司
Xinyi Rihong Plastic Chemical Co., Ltd.
 - 信宜中林松香有限公司
Xinyi Zhonglin Rosin Co., Ltd.
 - 南寧ハリマ化工有限公司
Nanning Harima Chemicals Co., Ltd.
 - Lawter 上海
 - Lawter 蘇州
 - Lawter 南平
 - Lawter 封開

- 韓国
●Lawter クンサン
- マレーシア
●Harimatec Malaysia Sdn. Bhd.
- 台湾
●日商ハリマ化成股份有限公司
Harima Chemicals, Inc. Taipei Office
- タイ
●Harima Chemicals, Inc.
Thailand Representative Office
- インド
●Lawter インド駐在員事務所

会社概要 (2013年3月31日現在)

社名	ハリマ化成グループ株式会社
設立	1947年11月18日
資本金	100億1,295万円
東京本社	東京都中央区日本橋3丁目8番4号
従業員数	53名(連結1,575名)
グループ社数	37社
事業内容	持株会社としてのグループ経営戦略の策定・推進、樹脂・化成品、製紙用薬品、電子材料事業を主とする各事業会社の経営管理

《ホームページ》 <http://www.harima.co.jp/>

●Topics 持株会社体制へ移行

ハリマ化成株式会社は、2012年10月1日付で社名を「ハリマ化成グループ株式会社」に変更して、グループ各社の株式保有と経営管理ならびにグループ経営戦略を策定、推進する純粋持株会社へ移行し、これまで行っていました樹脂化成品事業、製紙用薬品事業、電子材料事業を、同日付で新設しました同じ社名の「ハリマ化成株式会社」に承継させました。

North America

米国

米国

- Harima USA, Inc.
- Harimatec Inc.
- Lawter グローバル本社
- Lawter エルジン
- Lawter ラバーン
- Lawter パクスレー
- Plasmine Technology, Inc.
- Plasmine Technology, Inc. ベイミネット工場
- Plasmine Technology, Inc. ポートランド工場

日本

- 北海道工場／営業所
- 仙台工場／営業所
- 筑波研究所
- 茨城工場
- 東京工場
- 東京本社／営業所
- 富士工場／営業所
- 名古屋営業所
- 加古川製造所／中央研究所
- ハリマエムアイディ株式会社
- 大阪本社／営業所
- 四国工場／営業所
- 九州営業所
- ハリマ化成商事株式会社
- ハリマ化成ポリマー株式会社
- 株式会社日本フィラーメタルズ
- 株式会社セブンリバー

ブラジル

- Harima do Brasil Indústria Química Ltda. サンパウロ事務所
- Harima do Brasil Indústria Química Ltda. 本社／パラナ工場

ブラジル

アルゼンチン

- Lawter コンコルディア
- Lawter アカスン

アルゼンチン

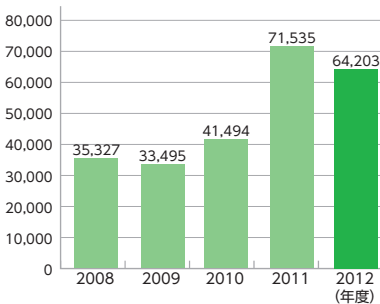
South America

Oceania

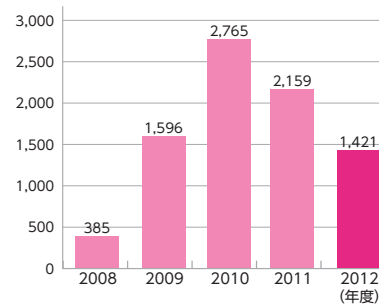
●ニューージーランド
Lawter Mt.マウンガヌイ

財務ハイライト

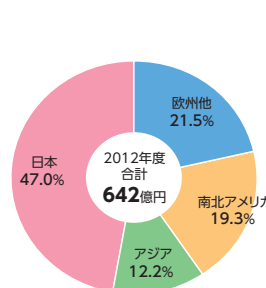
連結売上高(百万円)



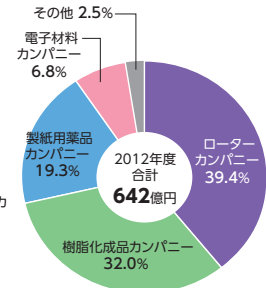
連結経常利益(百万円)



地域別売上高構成比



セグメント別売上高構成比



ハリマ化成グループ事業概要

私たちの生活を支えるさまざまなシーンでハリマ化成グループ

① 印刷インキ用樹脂

環境にやさしく、印刷を美しく仕上げ、速乾性により印刷スピードをアップさせる印刷インキ用樹脂の製造で高度情報化社会に貢献しています。



② 塗料用樹脂

カラフルな色で人々の目を楽しませる塗料。仕上がりの美しさはもちろん、環境にやさしい低VOC^{*1}を実現した高品質な塗料用樹脂をお届けしています。



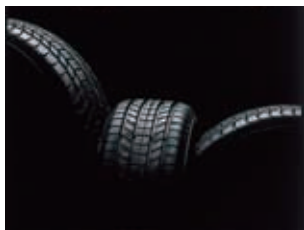
③ 粘接着剤用樹脂

接着剤の粘着力をアップする粘着付与剤。環境にやさしく、ポリエチレンなどのプラスチックにも抜群の粘着性を発揮するロジン系粘着付与剤を提供しています。



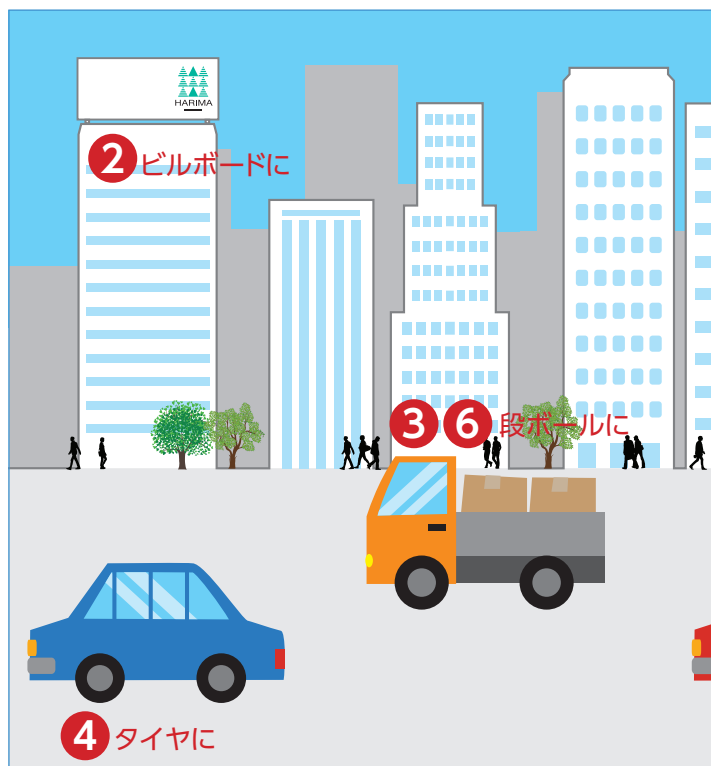
④ 合成ゴム用乳化剤

自動車タイヤなどに使用されるSBR^{*2}という合成ゴムの製造工程に欠かせない乳化剤。自動車の性能の進歩とともに求められるタイヤのクオリティアップに貢献しています。



⑤ サイズ剤

水あるいはインクのにじみを防ぎます。紙の多種多様な製造条件に合わせた最適なサイズ剤を提供しています。



の製品が使われています。



- ※1 VOC (Volatile Organic Compounds):揮発性有機化合物。常温常圧で大気中に容易に揮発する有機化学物質の総称。洗浄剤や溶剤、燃料として産業界で幅広く使用されています。しかし、大気や公共水域や地下水などへ放出されると、公害や健康被害を引き起こすことから、改正大気汚染防止法により主要な排出施設への規制が行われています。
- ※2 SBR:スチレン・ブタジエンゴム (Styrene-Butadiene Rubber)は代表的な合成ゴムであり、耐熱性、耐摩耗性、耐老化性、機械強度などに優れているため、自動車用タイヤ材として多く使用されています。
- ※3 プリコート法:熱交換器を組み立てる際、あらかじめ接合部材にろう付け材料を塗布し、続いて加熱処理を施すことで接合する工法のこと。

6 紙力増強剤

段ボールの素材となる板紙や新聞紙などのリサイクル率の高い紙に強度を持たせる紙力増強剤。紙の品質向上の一翼を担っています。



7 塗工剤・特殊薬品

出来上がった紙の表面に塗る薬品で、防滑性や撥水性、耐久性を付与するなど、さまざまな用途に向けてラインナップしています。また、廃棄物の量を抑制するなど、古紙のリサイクルに貢献する薬品も揃えています。



8 ソルダペースト

電子機器を構成する基板と電子部品の接合に使用されているのが「はんだ」です。「クリーン&ファイン」をコンセプトに、鉛を使わない「鉛フリーソルダペースト」を開発し、数多くの実績を積み重ねています。



9 導電性ペースト

導電性ペーストは、電気が流せる便利な接着剤です。そして、ナノサイズの金属粒子を安定分散させたインク状の導電性ペースト「ナノペースト」は、環境にやさしい新しい電子材料として注目されています。



10 アルミニウムろう付け材料

自動車に使用されている熱交換器はアルミニウムのろう付けが必要で、ハリマ化成はプリコート法^{※3}で新しいろう付け材料を開発しました。これにより熱交換器は軽量化され燃費が向上し、CO₂の削減にも貢献しています。



ハリマ化成グループの コーポレート・ガバナンスと内部統制システム

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

健全なる企業活動を通じ、株主はじめ、従業員、取引先、地域社会などのステークホルダーに対して、ハリマ化成グループの企業価値を高めることをコーポレート・ガバナンスの基本的な考え方としています。この基本方針のもと、迅速な意思決定および経営の透明性、合理性を向上させるために、取締役会、監査役会、監査グループの活動の充実および内部統制システムの整備に努めながら、ディスクロージャー（情報開示）、コンプライアンスおよびリスクマネ

ジメント体制の強化を図っています。

ハリマ化成グループの海上売上高比率は50%を超え、海外でも積極的な事業展開をしていますが、広報グループを中心に投資家へのIR活動を積極的に行う一環として、英語ホームページはもとより、2010年4月から中国語によるホームページを開設し、グローバル化に対応した情報開示の充実に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンスの実施状況

経営監視機能

経営に対する監視機関として、監査役制度を導入しており、常勤監査役1名と社外監査役2名による監査体制で、経営監視機能の充実を図っています。常勤監査役は、取締役会、グループ経営会議など重要な会議には全て出席して、社外監査役とともに取締役の職務執行状況を監視し、必要に応じて意見を述べるとともに、重要な決定書類などの閲覧などを通じて、取締役の職務の執行状況ならびに取締役会の意思決定過程を監査しています。

取締役会

取締役会を毎月1回以上開催し、法令、定款および取締役会規程などに定められた経営に関する重要事項は、全て取締役会に付議されています。また、ハリマ化成グループは、執行役員制度を導入しており、2013年6月26日現在、取締役12名、執行役員16名（内、取締役兼務者9名）の経営体制のもとで、取締役会の経営戦略意思決定および業務監督機能と、執行役員の業務執行機能を分離することにより、経営環境の変化に迅速に対応しています。なお、ハリマ化成グループの取締役の員数は、12名以内とする旨を定款に定めています。

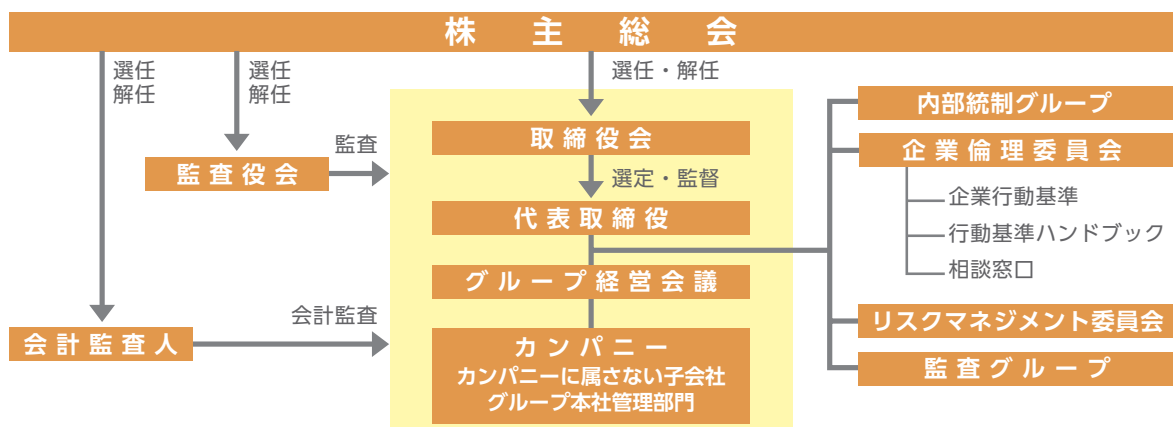
監査役会

監査役全員をもって構成される監査役会では、法令、定款および監査役会規程などに従い、監査役の監査方針、年間の監査計画などを決定しています。監査役会では、監査役が実施した監査報告や監査グループが実施した内部監査の実施状況などが報告され、情報の共有化、監査計画の進捗状況の確認を行うとともに、経営監視機能を充実させるための協議、検討を行っています。

グループ経営会議

毎月1回、取締役、監査役、執行役員ならびに主要な部門の責任者が出席するグループ経営会議を開いており、各部門における業務執行状況の報告、点検を行い、今後の方針および計画について審議し、経営環境の変化やリスクに対して、各部門において迅速に対応できる体制をとっています。

経営組織その他コーポレート・ガバナンス体制の概要



※ハリマ化成グループは2012年10月より、事業セグメント毎のカンパニー制を導入しています。

内部統制システムおよびリスク管理体制の整備の状況

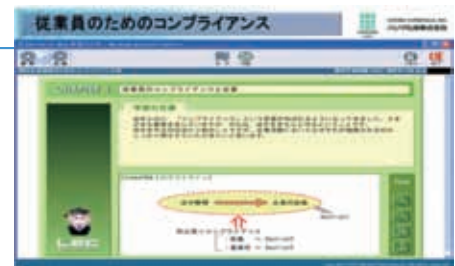
企業行動基準ならびに委員会など

企業理念である「自然の恵みを暮らしに活かす」を実践する事業活動を行う上で、「企業行動基準」を制定しています。「企業行動基準」の順守、コンプライアンスの徹底は、取締役を中心に構成する企業倫理委員会で推進され、ハリマ化成グループを取り巻くリスクについては、リスクマネジメント委員会で、検討・検証しています。

また、取締役を担当役員とする内部統制グループは、2ヶ月に1回以上、内部統制会議を開いて、コンプライアンスの徹底、リスクの回避および管理の状況ならびに「企業行動基準」の順守状況を監視しています。重要な法務問題に関しては、顧問弁護士に相談しながら対応しています。

社員教育

役員を含めた全社員に対して、基本動作の徹底、コンプライアンスおよびリスク管理の勉強会など、教育、啓蒙活動を日常的に実施していますが、2009年7月から役員および海外外向者も含めた全社員を対象に、社員の業務スケジュールに合わせて利用できるeラーニング教育システムを整備したことで、内部統制システムの一層の充実と強化を図っています。



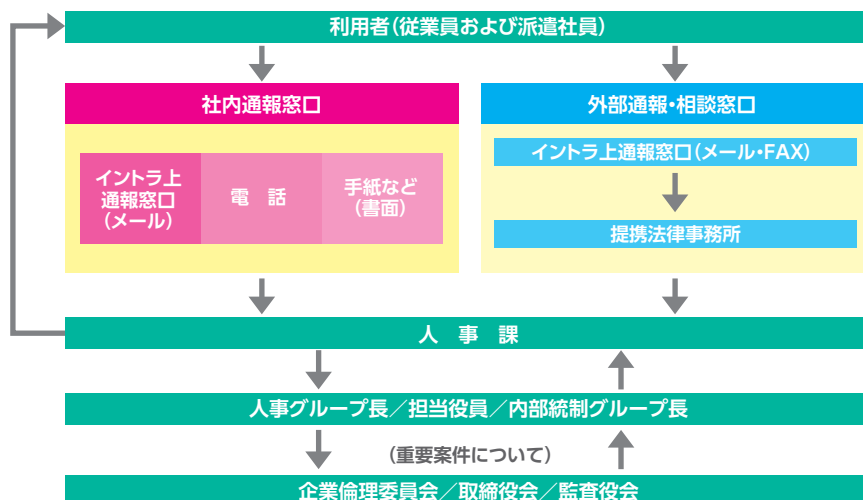
▲ eラーニング教育システムの例

コンプライアンス社内・社外通報制度

企業倫理向上のため「企業行動基準」「企業行動基準ハンドブック」の全社員への配布や「社内通報相談窓口」の設置に加えて、企業活動における違法行為の予防および万一の発生に対する迅速かつ適切な対応をより一層強化するために、2007年12月から社外に「コンプライアンス外部通報・相談窓口」を設置して、社員が直接社外の弁護士へ通報または相談できる制度を導入しています。

また、コンプライアンス社内・社外通報制度は、2006年4月1日に施行された「公益通報者保護法」に則り、相談者のプライバシーには最大限の配慮を行い、相談者に対していかなる不利益を与えることはない旨を規程に明記し、運用しています。

コンプライアンス社内・社外通報制度フロー図



個人情報保護体制

2005年10月に「個人情報保護方針」ならびに「個人情報保護規程」および同関連規程を制定し、個人情報保護管理体制および個人情報の適切な取扱いなどを定めて、個人情報保護法に対応できる体制を整備しています。